

研究課題名：	CT 造影検査における造影剤のボース注入速度が造影効果に及ぼす影響
研究機関名 所属（診療科等）：	さいたま赤十字病院 放射線科部
研究責任者及び職名：	一般撮影・救急部門 係長 寺澤 和晶
研究期間：	2017年 1月 1日 ～ 年 月 日
研究の目的と意義：	通常、CT 造影検査では経静脈的に造影剤をボース注入するが、その注入速度が著しく低速になった場合において動脈系（ファーストパス）の造影効果が低下するといわれている ¹⁾ 。数値的には、秒間 2mL (2mL/s) 以下とされているが、これについて詳細な報告はない。そこで、造影効果の変化点となる注入速度 (mL/s) を求めることにより、造影 CT 検査における注入速度の適正化をはかることを目的とする。これにより、造影 CT 検査における再現性の向上が期待できる。また、造影剤にはメーカーや種類により濃度 (mgI/mL) が差別化されており、低濃度から高濃度までさまざまであるが、検査目的に組み合わせた適正な選択も可能になる。
研究内容：	さいたま赤十字病院において造影 CT 検査を依頼された外来・入院の患者様を対象とし、研究対象者基本情報として年齢、性別、体重、造影 CT 検査時の注入速度を利用する。 対象患者様より取得した CT 画像情報から大血管を抽出し、造影剤により上昇した血管の CT 値 (HU) ²⁾ を測定する。研究は後ろ向き研究。
個人情報の取り扱い	画像データサーバーから CT 画像を抽出し、個人を特定できる情報（氏名、住所、生年月日）を除外した形で測定する。患者様の測定情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 放射線科部 氏名：寺澤 和晶 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111 (内線 20147)

1) 市川勝弘ほか：X線 CT 認定技師講習会テキスト、日本 X 線 CT 専門技師認定機構、102-103、2011。

2) CT 値 (HU)：白黒の濃淡値 (画像濃度値)